

ディスポーザ

DSP-250HD-AWS-H型(自動給水タイプ)



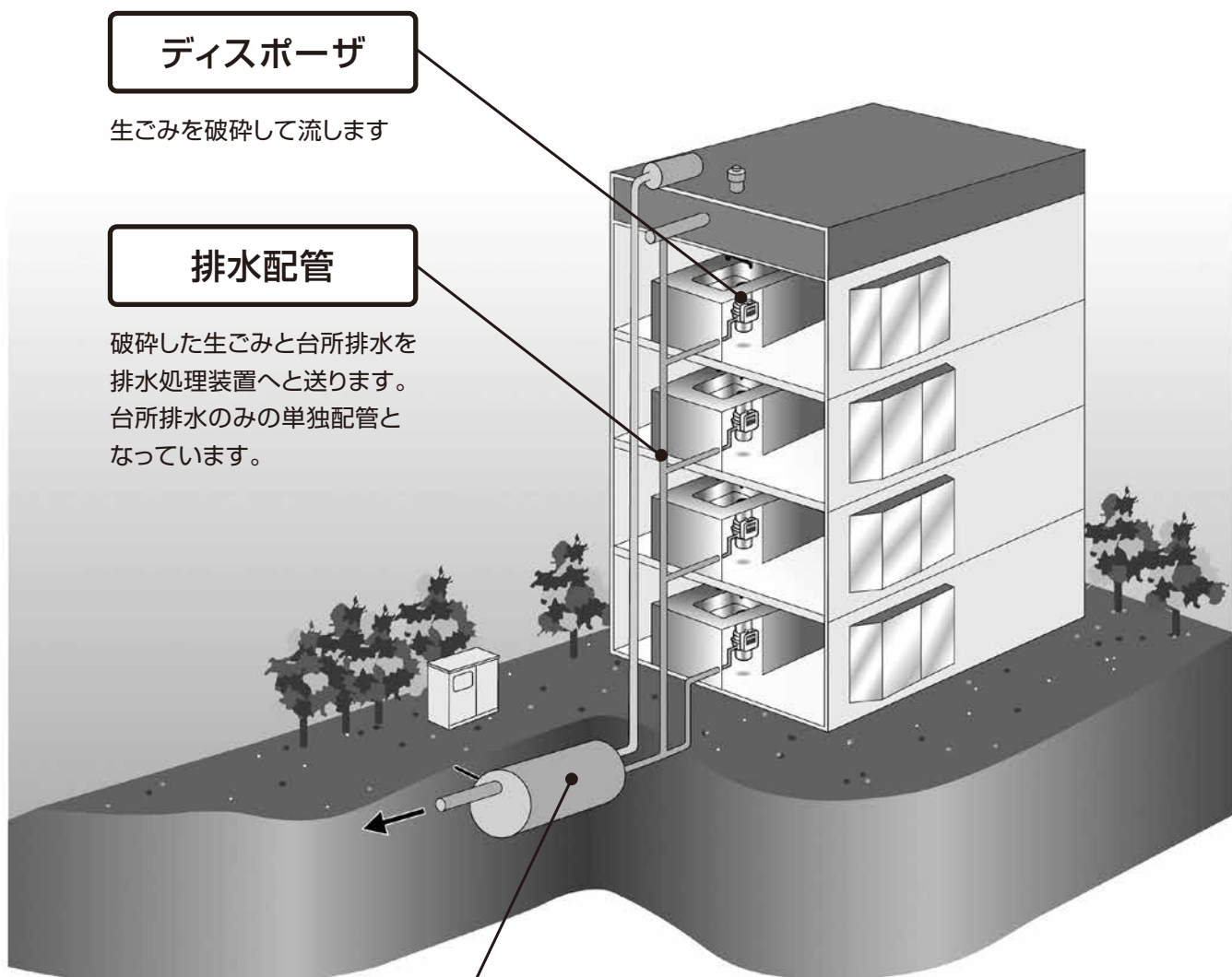
保証書はこの取扱説明書の25ページに付いておりますので、お客様名・お引渡日などの記入をお確かめください

- このたびは、テラルディスポーザをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。ディスポーザを安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり、十分理解してください。
- この説明書には保証書が付いておりますので、大切に保管してください。

もくじ

1. ディスポーザシステムの概要	1
2. ディスポーザの構成	2
3. 安全上のご注意	3
4. 使用上のご注意	6
5. 投入物についてのご注意	7
6. 運転のしかた	9
7. お手入れのしかた	14
8. 故障の原因と対策	21
• アフターサービス	23
• 部品交換の目安	24
• 保証書	25
• ディスポーザの仕様	26

1. ディスポーザシステムの概要



ディスポーザ

生ごみを破碎して流します

排水配管

破碎した生ごみと台所排水を排水処理装置へと送ります。台所排水のみの単独配管となっています。

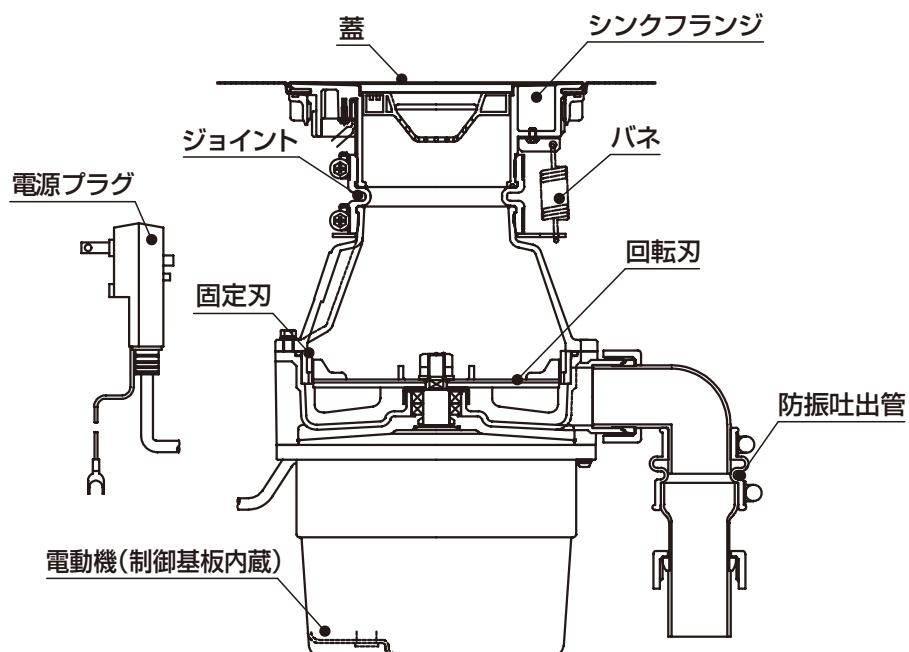
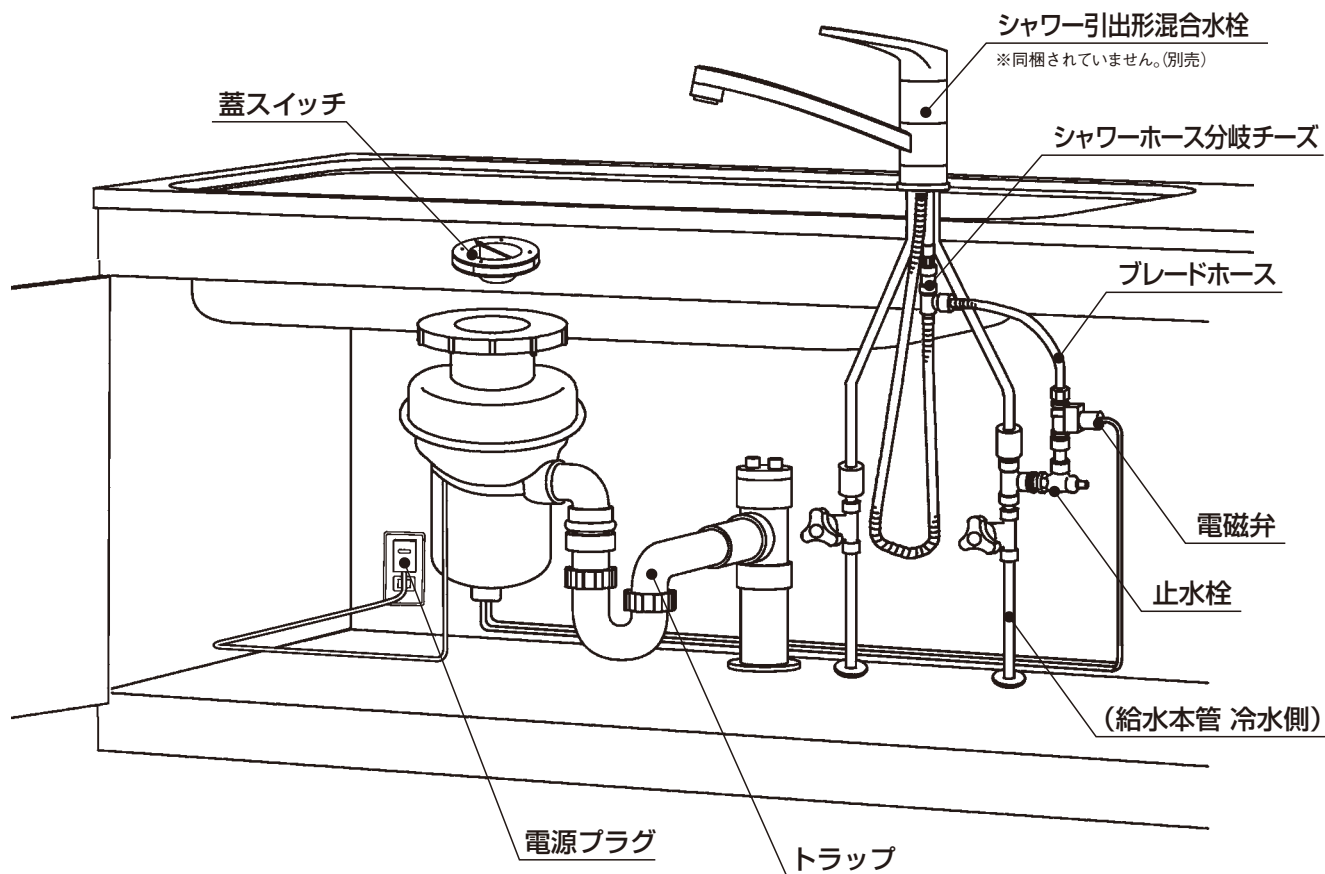
排水処理槽

破碎した生ごみと台所排水を分解処理して下水道または、高度処理型合併処理浄化槽に放流します。

所轄の下水道局の設置許可を受けた、ディスポーザからの排水を処理する排水処理槽なしでは、ディスポーザを使用することはできません。なお、排水処理槽は維持管理業者による保守点検および水質検査が義務付けられています。また、排水管の洗浄(1回/年)が必要です。

2. ディスポーザの構成

【各部の名称】





3.安全上のご注意





●安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、ご使用にあたっては記載事項をお守りください。

表示の意味

表 示	意 味
 警 告	「取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること」を示します。
 注 意	「取扱を誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること」を示します。

図記号の説明

表 示	意 味
 禁 止	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	分解しないでください。
	電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

●電気工事(漏電遮断器・アース線)は

!
必ず守る

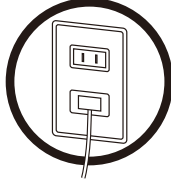
電源供給元には、必ず漏電遮断器を設置してください。

故障や漏電のときに感電の原因となります。

!
アース線接続

アースを確実に取り付けてください。

故障や漏電のときに感電の原因となります。



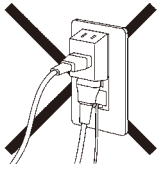
※漏電遮断器・アース工事は、電気工事店に依頼してください。(有料)

●電源プラグや電源コードは

!
必ず守る

交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

タコ足配線は絶対にしないでください。他の器具と併用されると、異常発熱、発火の原因になります。



!
必ず守る

電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。

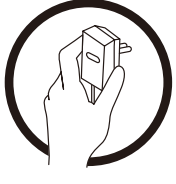
感電・火災・故障の原因となります。



!
必ず守る

電源プラグにホコリや水滴が付着していないか確認してください。

感電・火災・故障の原因となります。



!
ぬれ手禁止

電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



!
必ず守る

電源プラグは根元まで差し込んでください。

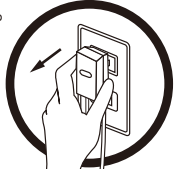
火災や感電の原因となります。



!
必ず守る

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずにプラグを持って抜いてください。

電源コードが破損すると、火災や感電の原因となります。

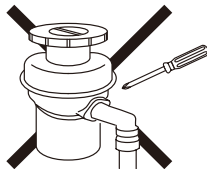


●本体は

!
分解禁止

分解・改造は行わないでください。

感電・火災・漏水・故障の原因になります。



!
水場禁止

ディスポージャー本体を濡らさないでください。

漏電・感電の原因となります。



●お手入れのときは

!
プラグ抜き動作

お手入れのときは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

けがや感電の原因となります。



3.安全上のご注意

⚠ 注意

●運転前後、運転中は



運転中に蓋スイッチを外してすぐにディス
ポーザ内部へ手を入れないでください。

禁止

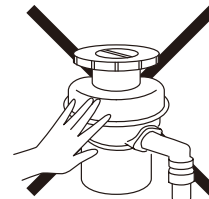
※ディスポーザが運転を終了しても
惰性で数秒間回転することがあ
ります。完全に停止するまで、蓋
スイッチを外さないでください。
けがの原因になります。



ディスポーザを運転した直後に、本体を
触らないでください。連続して運転を
行った場合、表面が熱くなっていること
があります。

禁止

やけどの原因になります。



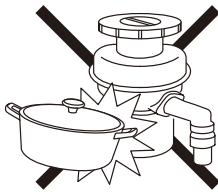
●本体・蓋スイッチは



無理な収納物の押し込みによ
り、ディスポーザに力を加
えないでください。

禁止

水漏れや故障の
原因になります。



シンクの蓋は乱暴に扱わな
いください。

禁止

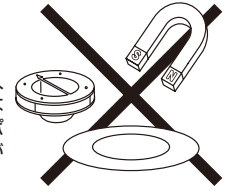
破損するこ
とがあります。



ディスポーザの投入口に磁
石を近付けないでください。

禁止

蓋スイッチが投入
口に収まっていな
い状態でディスポ
ーザが作動し、けが
の原因になります。



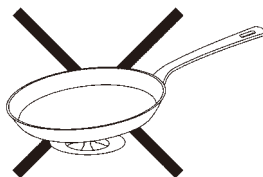
●温度に注意



必ず守る

投入口・蓋スイッチの上に
熱い鍋やフライパンを置か
ないでください。

変形の原因に
なります。



シンクには60℃以上のお
湯を連続的に流さないでく
ださい。

禁止

配管の変形・劣
化により漏水の
原因になります。



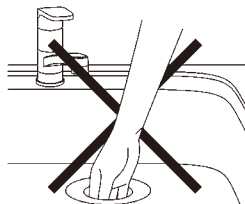
●お手入れのときは



ディスポーザ内部へ手を入
れるときは、厚手の手袋を
着用してください。

禁止

けがの原因に
なります。



酸性・アルカリ性・塩素系の
洗剤・漂白剤は使用しない
でください。

禁止

ステンレスのサ
ビや腐食による
漏水の原因にな
ります。

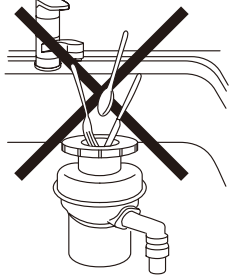


4.使用上のご注意

●運転するときは

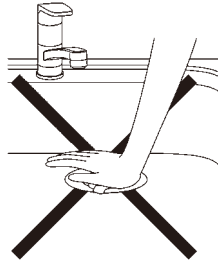
生ごみ以外は投入しないでください。
(→8ページ)

故障の原因になります。



多量の生ごみを無理に押し込まないでください。

嘔み込み・排水不良の原因になります。



混合水栓のシャワーヘッドを水栓本体にセットした状態で運転を行ってください。

浄水器内蔵の混合水栓をご使用の場合、切替を「原水」にしてください。「浄水」でご使用されますと吐水流量が不足して配管の詰まりの原因になります。

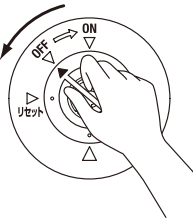
長時間使用しなかった後は、生ごみを投入する前に試運転を行い、正常に運転すること、排水できることを確認してください。

●使用しないときは

ディスポーザを使用しないときは、蓋スイッチを「OFF」に合わせてください。(→11ページ)

●蓋スイッチを外した状態にすると、スプーンなどの異物が入ってしまうことがあります。

●蓋スイッチを「ON」のままにしておくと、排水が流れにくくなります。



ディスポーザを使用しない場合でも、週に2~3回程度運転を行ってください。

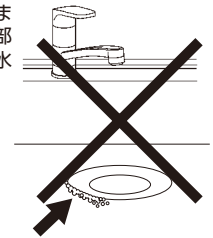
長時間ディスポーザを使用しないと破砕室内にごみが堆積して、悪臭が発生したり排水が流れにくくなる場合があります。



●洗いのあとは

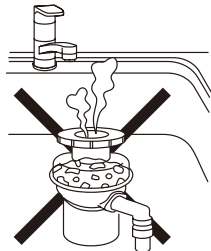
投入口部分(特にシンク接続部のすきま)に洗剤を残さないでください。

洗剤が付着したまま放置すると、金属部分が腐食され漏水の原因になります。

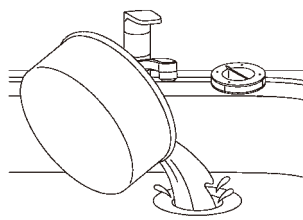


ディスポーザの破砕室内に生ごみを貯めたまま長時間放置しないでください。

悪臭の発生や排水不良の原因になります。

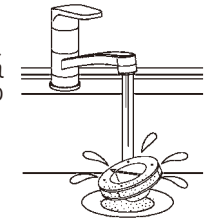


旅行などで長時間使用しないときは、お出掛けの前に、洗い桶・鍋などに溜めた水を一気に流してください。



シンク内で砂が付着した野菜などを洗った後は、蓋スイッチや投入口に付着した砂や土をきれいに洗い流してください。

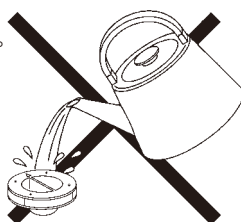
砂が嘔み込んで、蓋スイッチが外れなくなる原因になります。



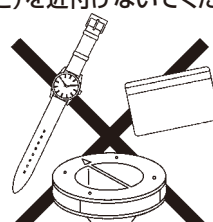
●蓋スイッチには

蓋スイッチに熱湯をかけないでください。

故障・変形の原因になります。



蓋スイッチには磁石を内蔵していますので、磁気に弱いもの(磁気カードや時計など)を近づけないでください。

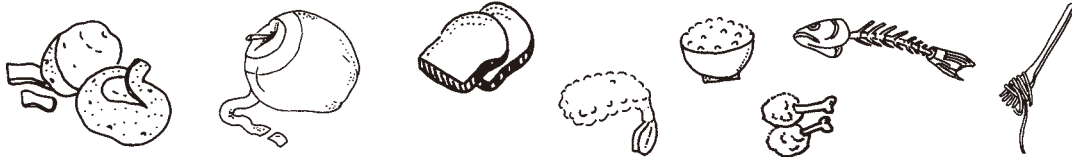


5.投入物についてのご注意

投入してよいもの

食品くず

野菜くず、果物くず、米飯（炊いたもの）、魚肉、小魚の骨（いわしなど）、手羽元などの鶏の骨、肉類、麺類、パン、揚げ物、茶葉、その他残飯など



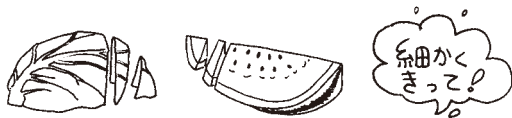
処理しにくいもの

以下の生ごみはディスプレイに投入できますが、処理されにくく破砕室内や排水配管内に残ることがあります。

大きい生ごみ

キャベツ・レタスの大きな葉、グレープフルーツ・スイカ・メロン等の皮など

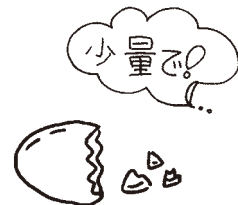
3cm角程度に細かく切って投入してください。



卵の殻

一度に多量の卵の殻を破砕すると、排水配管内に堆積して詰まりの原因となります。

他の生ごみと混ぜて少量ずつ（1～2個程度）



柔らかく弾力のある生ごみ

生魚の皮、鶏の皮、軟骨

他の生ごみと混ぜて少量ずつ処理してください。



少量の繊維質の生ごみ

枝豆の鞘（片手に軽く載る程度）など




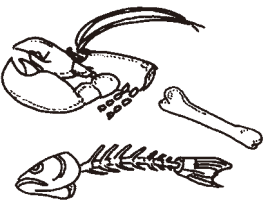





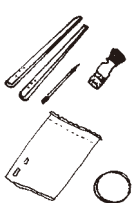
他の生ごみと混ぜて少量ずつ処理してください。



単一生ごみ（米飯のみ、枝豆のみ、卵の殻のみ、茶葉のみなど）を多量（両手一杯程度）に投入しないでください。処理できずに破砕室内に残ったり、排水配管の詰まりの原因になることがあります。

投入してはいけないもの

下記の物を投入すると、ディスポーザを破損したり破碎できずに内部に残ります。

種類	品名例	投入すると発生する不具合
金属類	スプーン、フォーク、王冠など 	回転刃の損傷や動作不良など、ディスポーザの故障の原因となります。
ガラス類	コップ、ビンの破片など 	
陶器類	お皿、茶碗、箸置きなど 	
かたい生ごみ	カニ類の殻、鯛など大きな魚の骨、かぼちゃ・柿・桃などの固い種、牛・豚・鳥の大きな骨など 	破碎されずディスポーザ内部に残ります。
多量の魚や鶏の生皮	生魚の皮、鶏の皮、タコ・イカ丸ごとなど 	
強い繊維質のもの	竹の子の皮、パイナップルの芯・皮、とうもろこしの皮、栗の皮、玉ねぎの皮、多量(両手一杯程度)の枝豆の鞘、生花、花の茎など 	ディスポーザで破碎されても、排水配管内に堆積して詰まりの原因になります。
貝殻類	カキ、サザエ、アサリ、シジミなど 	
高温のもの	熱湯、油、熱いカレーなど 	ディスポーザや配管を傷めます。
油、薬品類	多量のマヨネーズ、多量の油、多量の酸・アルカリ性洗剤 	ディスポーザ本体や配管を劣化させ、排水処理槽での処理を妨げます。
食品くず以外	割り箸、爪楊枝、ガム、プラスチック、ゴム、紙、ビニール袋、ラップ、アルミホイル、発泡スチロール、トレイ、キッチンペーパー、キッチンタオル、ティッシュペーパー、針金、石、砂、タバコの吸い殻など 	ディスポーザ内部に残ったり、排水配管内に堆積して詰まりを引き起こす原因となります。

6. 運転のしかた

【 使用手順 】

本製品には、運転モードが下記の2つがありますので、用途に合わせてお選びいただき、使用手順に従ってご使用ください。

標準運転モード (9ページ~12ページ)

生ごみを破碎する場合(通常使用)

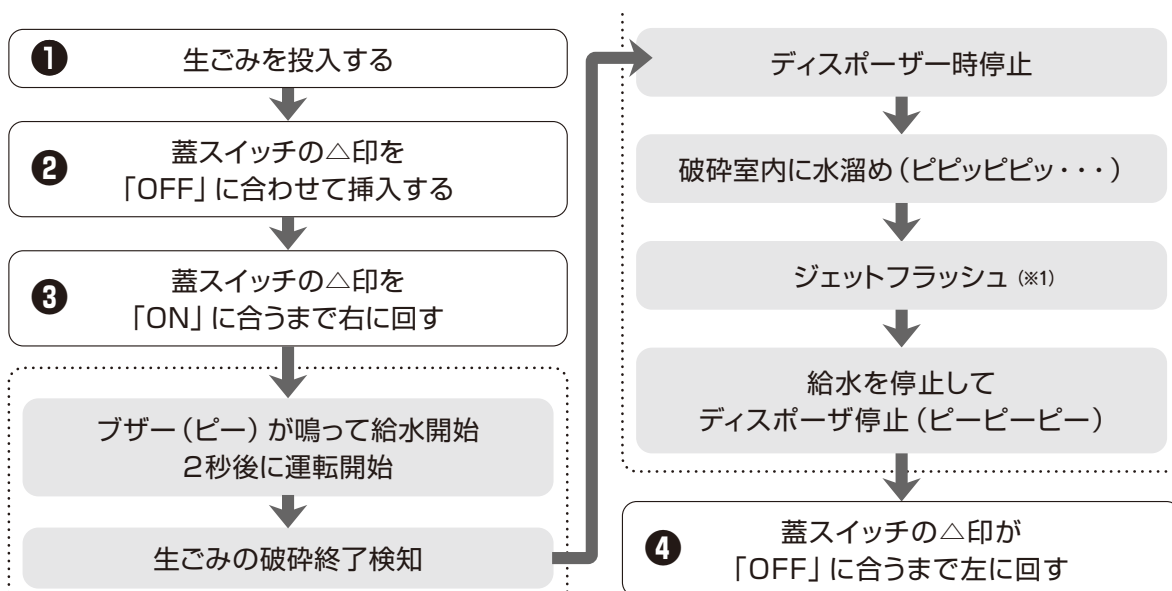
洗浄・すすぎモード (12ページ~13ページ)

ディスポーザ破碎室内を洗浄する場合

↓ 標準運転モード

[生ごみを破碎するとき]

ディスポーザ運転のフロー



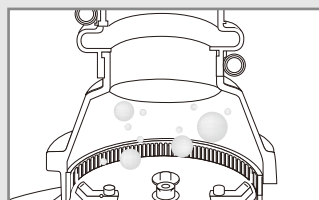
..... ディスポーザが自動的に行ないます。 ※各操作の詳細については、10~12ページを参照してください。

警告

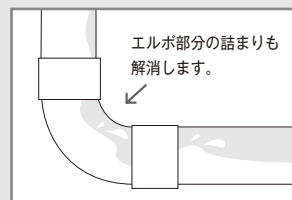
生ゴミの詰め込みすぎ、又は異物の噛み込みにより、運転が停止することがあります。この時、過負荷保護装置が作動し、「ピピピピピピピッ……」というブザー音で知らせます。このブザー音が鳴ったら、蓋の「△」印をOFFの位置まで回して止めてください。噛み込み解除の方法については「15頁“噛み込み解除の仕方”」を参照してください。

※1) ジェットフラッシュ

生ごみ破碎後、ディスポーザ内に水を溜めて一気に排水することで、破碎室内や排水配管の洗浄を行います。

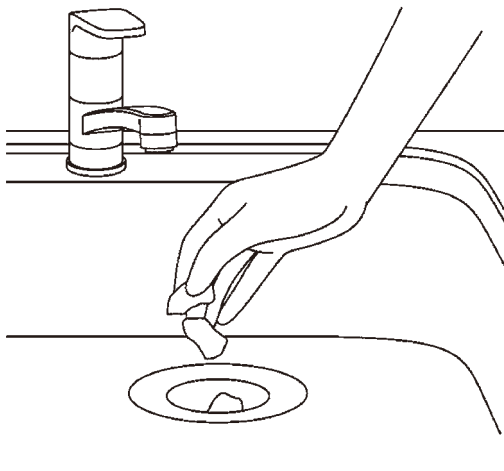


[イメージ図]

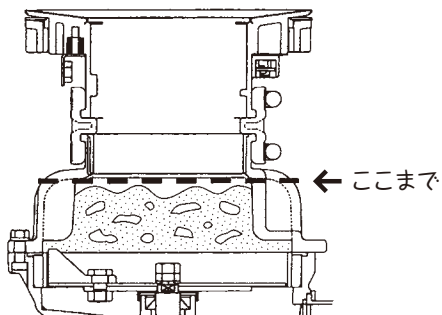


エルボ部分の詰まりも解消します。

1 ディスポーザに生ごみを投入してください。



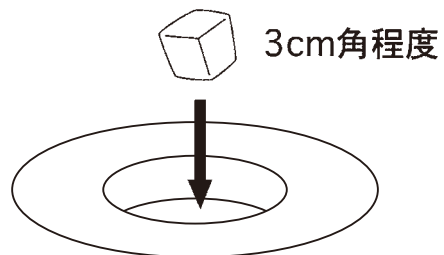
投入口



← ここまで

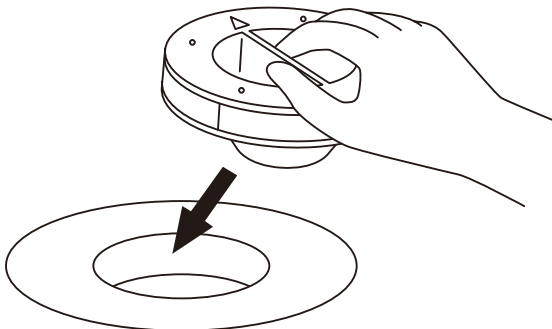
[投入量の目安]

- このとき生ごみを多量に押し込まないようにしてください。下図の投入量の目安をご確認ください。
- 大きい生ごみはあらかじめ3cm角程度に小さく切ってから投入してください。
- ディスポーザでは処理できないものがあります。8ページの投入してはいけないものをよくご確認ください。
- 単一生ごみを多量（両手一杯程度）に投入すると排水配管の詰まりの原因になることがあります。



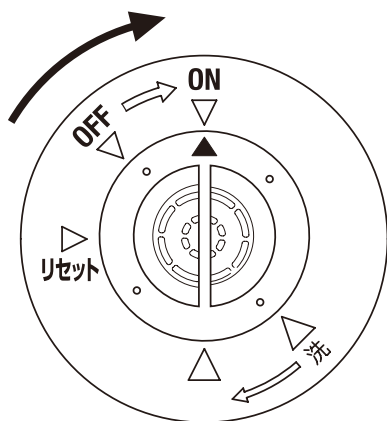
3cm角程度

2 投入口に蓋スイッチを挿入してください。



- 蓋スイッチの△印を、投入口の「OFF」の位置に合わせて挿入します。

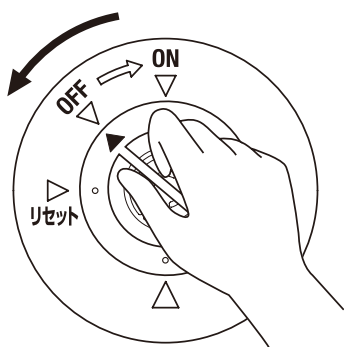
3 蓋スイッチを右に回して、「ON」にしてください。



- 蓋スイッチの△印が「ON」の位置に合うまで回すと、「ピー」とブザーが鳴って給水が開始し、2秒後にディスポーザの運転が開始します。
- 生ごみの破碎が終了するとディスポーザは一時停止し、破碎室内に水を溜めてジェットフラッシュ(洗浄)を行います。「ピピピピッ…」とブザーが鳴っている間は破碎室内に水を溜めています。
- ジェットフラッシュが終了すると、「ピーピーピー」とブザーが鳴って給水が停止し、ディスポーザは自動停止します。

<p>⚠ 注 意</p>	<p>運転中に金属音や非常に大きな音がした場合は、ただちに蓋スイッチを「OFF」の位置に合うまで左に回して、運転を停止してください。</p>
<p>⚠ 注 意</p>	<p>過負荷保護装置が頻繁に働くような使用はしないでください。故障の原因になります。</p>
<p>⚠ 注 意</p>	<p>「ピピピピッ…」とブザーが鳴っている間に水を止めないでください。ジェットフラッシュによる洗浄が行えません。</p>

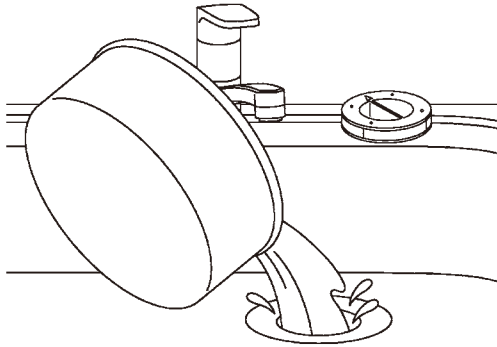
4 蓋スイッチの△印を「OFF」の位置にあわせてください。



<p>⚠ 注 意</p>	<p>蓋スイッチを外した状態にしておくと、スプーンなど異物が落下してしまう恐れがあります。</p>
--------------	---

5

週に2~3回程度、洗い桶・鍋などに溜めた水を一気に流してください。排水配管を洗浄する効果があります。



- 特に卵の殻を処理した後に流すと効果的です。
- 旅行などで長期間留守にされる際、お出かけの前にも溜めた水を一気に流してください。

 **注 意**

溜め水を流す際は、ディスポーザの蓋スイッチを外してください。溜め水を流した後は、破碎室内に異物が落下していないことを確認して、蓋スイッチの△印を「OFF」の位置に合わせて挿入してください。

↓ 洗浄・すすぎモード

[ディスポーザ破碎室内を洗浄するとき]

洗浄・すすぎモードのフロー

① 蓋スイッチの「△」印を「洗」に合わせて入れる。

② 蓋スイッチの「△」印をフランジの「△」に合うまで右に回す。

運転開始(ピー)

破碎室内に水溜め(ピピピピッ…)

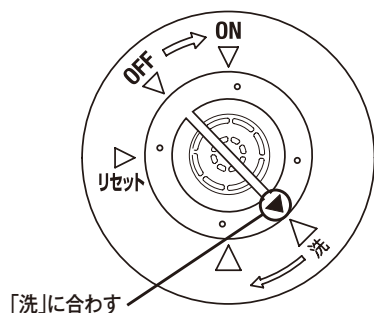
ジェットフラッシュ

洗浄終了(ピーピーピー)

③ 蓋スイッチを外し、「△」印を「OFF」に合せて入れる。

…… ディスポーザが自動的に行いません。

- 1** 蓋スイッチの「△」印を「洗」に合わせて、投入口に挿入してください。

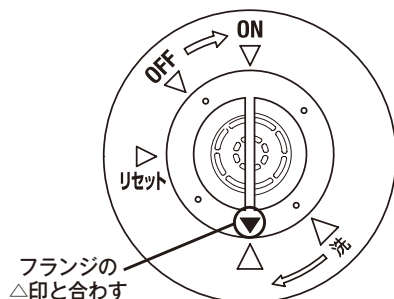


- 標準運転モードとは蓋スイッチを入れる向きが180°逆になります。

注意

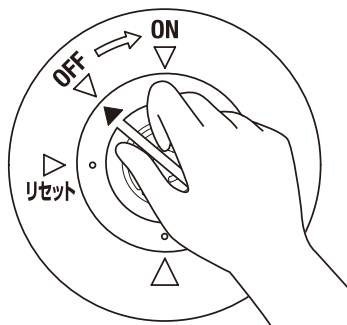
洗浄・すすぎモードで運転するときは生ごみを投入しないでください。

- 2** 蓋スイッチとフランジの「△」印が合うように矢印の方向へ回してください。



- 「ピー」とブザーが鳴って給水が開始し、破砕室内の洗浄（ジェットフラッシュ）を行います。
- 洗浄が終了すると「ピーピーピー」とブザーが鳴って給水が停止し、自動停止します。

- 3** 蓋スイッチを外し、「△」印を「OFF」に合わせて入れてください。

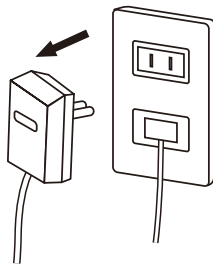


7.お手入れのしかた

異物の取り出し方

ディスポーザの破砕室内に異物（投入してはいけないもの→8ページ）が入ってしまった場合、必ず下記の手順で取り除いてください。そのままディスポーザを運転してしまいますと噛み込みや配管の詰まりなど、不具合の原因になります。

1



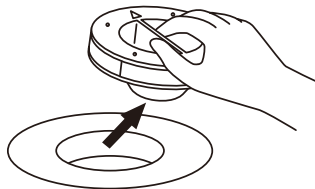
ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントの位置に手が届かなくて電源プラグを抜くことができないときは、分電盤のディスポーザ用分岐ブレーカーのつまみを下げて「OFF」にしてください。

 警告

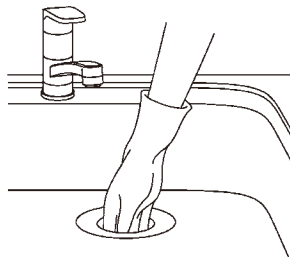
異物の取り出し作業時は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。けがの原因になります。

2



投入口から蓋スイッチを外してください。

3

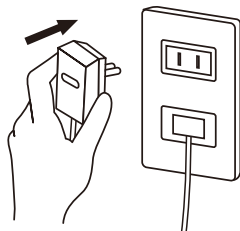


厚手のゴム手袋などをして、投入口に手を入れて取り出してください。

 注意

投入口から破砕室内部へ手を入れるときは、必ず厚手のゴム手袋などを着用してください。けがの原因になります。

4



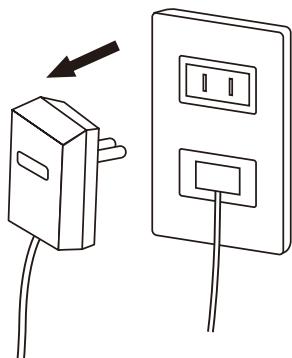
ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ブレーカーを「OFF」にした場合は、つまみを上げて「ON」にしてください。

噛み込み解除の仕方

破碎中に、生ごみの詰め込みすぎやスプーンなどの異物により噛み込みが発生した場合、過負荷保護装置が作動してディスプレイが停止します。この場合、「ピピピピピピピピピッ……」というブザー音（電子音）でお知らせします。下記の手順で噛み込みを解除してください。

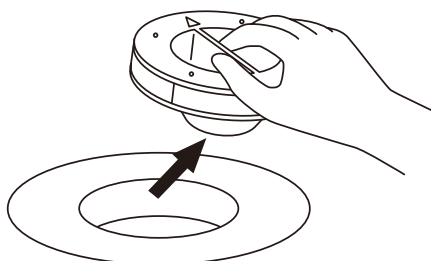
1



ディスプレイの電源プラグをコンセントから抜いてください。

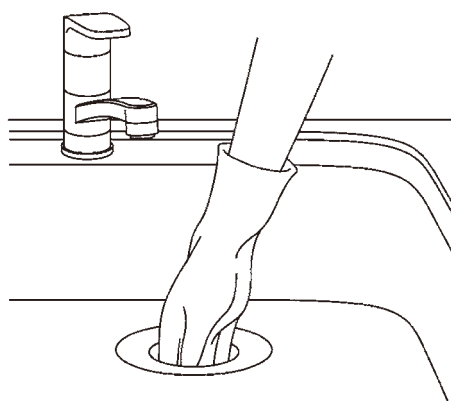
コンセントの位置に手が届かなくて電源プラグを抜くことができないときは、分電盤のディスプレイ用分岐ブレーカーのつまみを下げて「OFF」にしてください。

2



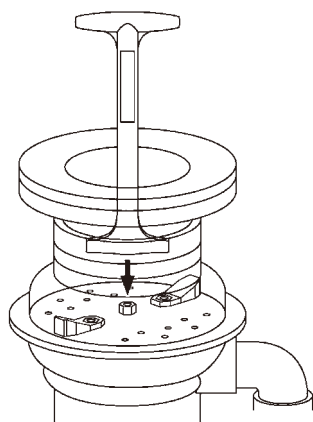
投入口から蓋スイッチを外してください。

3



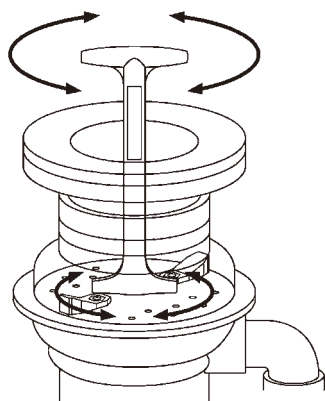
厚手のゴム手袋などをして、投入口に手を入れて破碎室内部の生ごみをできるだけ取り出してください。

4



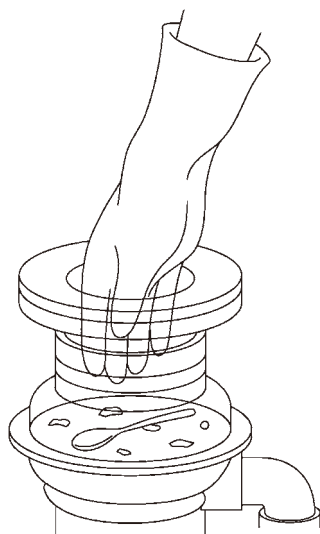
付属のロック解除ハンドルを投入口から
破砕室内に差し込み、ハンドルの凹部を
回転刃の中心のナットに合わせて入れ
てください。

5



ハンドル先端の突起部を回転刃のハン
マーに引っ掛けて、左右どちらかに回し
てください。回転刃が回ると
噛み込みが解除されています。

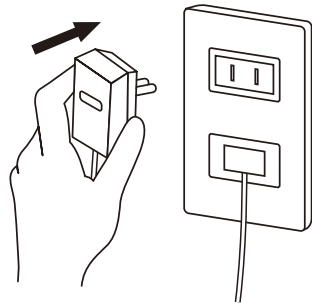
6



ディスポーザの破砕室内部の異物を取り
除いてください。(14ページ参照)

7.お手入れのしかた

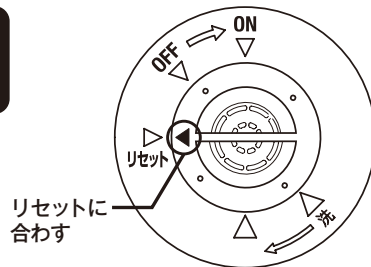
7



ディスプレイの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ブレーカーを「OFF」にした場合は、つまみを上げて「ON」にしてください。

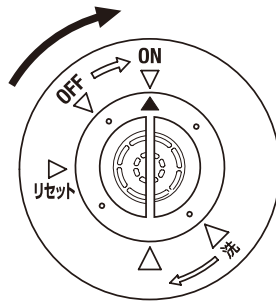
8



蓋スイッチの「△」印を「リセット」に合わせて入れてください。

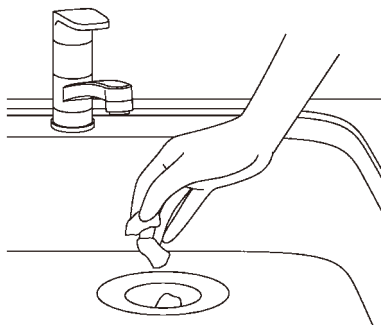
●ブザーが「ピー」と鳴り、過負荷保護装置が解除されます。

9



投入口に蓋スイッチを挿入して右に回し、ディスプレイが運転することを確認してください。

10



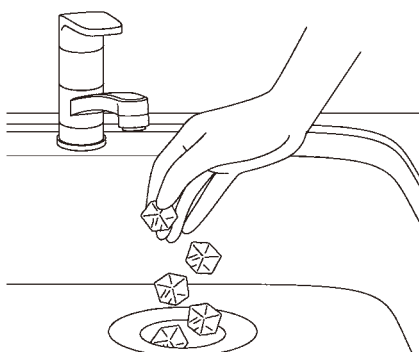
再度、生ごみのみを投入し運転を行ってください。

ディスポーザ本体内部のお手入れ

ディスポーザは生ごみを処理する機械です。破砕室内に生ごみの破片等が残ったまま放置しますと悪臭の原因となりますので、下記の手順で定期的（週に2～3回程度）にお手入れを行ってください。

氷洗浄

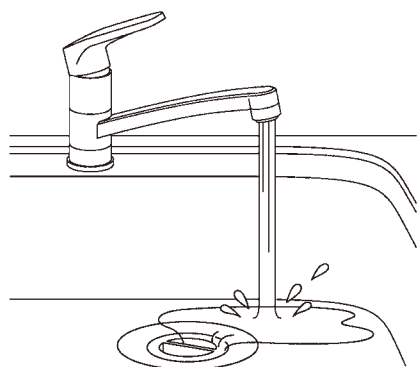
1



氷（キューブアイスなど）を5～6個、投入してください。

※このとき氷と一緒に台所用中性洗剤・レモン汁・食酢などを数滴、破砕室内へ投入するとより効果的です。

2



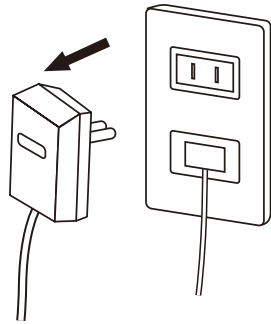
ディスポーザの運転を行ってください。

ディスポーザで細かく砕かれた氷がシャーベット状になって、破砕室内に付着した汚れを洗い流します。

7.お手入れのしかた

「氷洗浄」によるお手入れを行ってもなお、においや汚れが気になる場合は、下記の手順で内部をおそうじしてください。

1



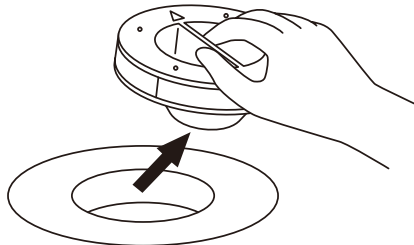
ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントの位置に手が届かなくて電源プラグを抜くことができないときは、分電盤のディスポーザ用分岐ブレーカーのつまみを下げて「OFF」にしてください。

 **警告**

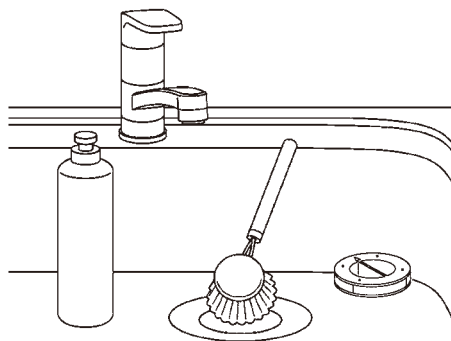
内部の洗浄をする時は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。けがの原因になります。

2



蓋スイッチを投入口から外してください。

3

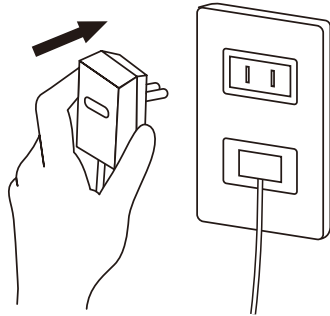


柄の付いたブラシ等に台所用中性洗剤をつけてディスポーザ内部を擦り洗いしてください。

 **注意**

内部に手を入れるときは、必ず厚手のゴム手袋などを着用してください。けがの原因になります。

4



ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ブレーカーを「OFF」にした場合は、つまみを上げて「ON」にしてください。

その他

- ディスポーザ本体(外側)の汚れは、かたく絞った布で拭いてください。

 **警告**

電動機は濡らさないでください。漏電・感電の原因になります。

 **注意**

台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

- ディスポーザを使用しないで、生ごみを可燃ごみとして出される場合も、週に1回程度ディスポーザを運転してください。破碎室内に入ったごみが堆積して通水路を塞ぎ、水が流れにくくなる場合があります。

破碎室内の回転刃や固定刃などの部品はステンレス製ですが、破碎した生ごみの破片や異物が付着したまま放置しますと、黄ばみや汚れがこびりついてしまうことがありますが、ディスポーザの性能上、全く影響はありません。

8.故障の原因と対策

ディスポーザをご使用中に異常が生じた際は、この章をご覧になり処置方法を試してください。それでも直らないときは、コールセンター(連絡先は 23 ページ参照)へご相談ください。

症 状	原 因	処 置
ディスポーザが動かない	蓋が確実に入っていない。	蓋スイッチの△印を「OFF」に合わせて入れ直し、「ON」の位置まで右に回してください。
	生ごみの詰め込みすぎ、または異物が噛み込んで、過負荷保護装置が作動している。	噛み込みを解除して、リセットボタンを押してください。(→15～17ページ)
	電源プラグが抜けている。	ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	分電盤内の漏電遮断器、またはディスポーザへの分岐ブレーカーが落ちている。	漏電遮断器、またはディスポーザへの分岐ブレーカーのつまみを上げて、「入」にしてください。
	漏電している。	使用を中止して、コールセンターへご相談ください。
運転中に異常振動、異常音がある。	金属類やガラス類、プラスチックなどの異物が投入されている。	異物を取り除いてください。(→14ページ)
	生のタコやイカなど、処理しにくい生ごみが多量に投入されている。	処理しにくい生ごみは小さく切って少量ずつ、他の生ごみと混ぜて処理してください。(→7ページ)
	強固な異物の噛み込みにより、回転刃が変形している。	回転刃の交換が必要です。コールセンターへご相談ください。
生ごみが破碎室内に残る。	投入できない生ごみ、または処理しにくい生ごみが多量に投入されている。	投入できない生ごみは取り除き、処理しにくい生ごみは小さく切って少量ずつ、他の生ごみと混ぜて処理してください。
ブザーの音が鳴り止まない。	過負荷保護装置が作動しています。	蓋スイッチを「OFF」の位置に戻してブザーを止めてください。その後、噛み込んでいるものを取り除いてリセットボタンを押してください。(→15～17ページ)

ディスポーザを使用しないとき、シンク内の水が流れにくい。	ディスポーザの中に生ごみが溜まったままになっている。	ディスポーザの運転を行い、生ごみを処理してください。
	ディスポーザを長期間使用していないため、破砕室内にごみが溜まっている。	ディスポーザを長期間使用しない場合でも、週に1回程度運転してください。
シンク内に水が溜まって、まったく排水されない。	ディスポーザの中に生ごみが溜まったままになっている。	ディスポーザの運転を行い、生ごみを処理してください。
	強い繊維質の生ごみや貝殻類など、投入してはいけないものを破砕して、ディスポーザ内、または排水配管内に詰まっている。	コールセンターへご相談ください。
ディスポーザ側面の点検穴から水が漏れている。	軸封部からの水漏れです。	パッキン、軸封部品などは消耗部品です。コールセンターへご相談ください。この状態で使用を続けると、本体の故障の原因になります。
シンク接続部、トラップから水が漏れている。	パッキンが劣化している。	パッキンの交換が必要です。コールセンターへご相談ください。
スイッチをONにしても水が出ない	ディスポーザの制御盤から電磁弁の電源ケーブルが抜けている。電磁弁のストレーナーが目詰まりしている。	止水栓を閉めて使用を中止し、コールセンターへご相談ください。
スイッチをOFFにしても水が止まらない	電磁弁にごみが挟まっている。	パッキンの交換が必要です。コールセンターへご相談ください。
給水装置から水が漏れている	パッキンが劣化している。	パッキンの交換が必要です。コールセンターへご相談ください。

アフターサービス

修理を依頼される前に、21～22ページの「故障の原因と対策」の項をよくご確認ください。

● 保証書

保証書は本書の25ページに掲載してあります。

必ずお引渡し日の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間は、お引渡し日から2年間です。

● 補修用部品の最低保有期間

補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年間です。

● 保証期間中の修理について

説明書の内容をよくお確かめの上、なお異常のあるときにはテラルコールセンターへ修理を依頼してください。保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

なお、修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

● 保証期間経過後の修理について

テラルコールセンターへご相談ください。

ご要望により、製品の機能を維持するための修理、または新品への交換を有料で行います。

● お問合せ先

点検・修理のご依頼は、下記のコールセンターへご連絡ください。

電話によるご相談・修理依頼の受付：365日、24時間受付しております。

修理を行う日時はご依頼受付時にご相談させていただきます。都合により即日対応できない場合がありますのでご了承ください。

テラルコールセンター



0120-201-844

● 部品交換の目安

ディスポーザには破砕部や封水部など消耗部品があります。

使用状況によって、交換の時期は異なりますが、各部品についての交換の目安を示しますので、その期間を目安に点検・交換をしてください。

ジョイント	⇒	5年	電動機	⇒	7年
固定刃	⇒	5年	制御盤	⇒	5年
回転刃	⇒	5年	各種パッキング	⇒	5年
オイルシール	⇒	5年			

※ディスポーザ本体の交換目安は、7～10年です。

※使用状況(使用頻度、異物の噛み込みなど)により、交換時期が表示年数より早くなることがあります。

● 定期点検のおすすめ(有料)

安心して末永く快適にご使用いただくために、お取付日より2年以上経ったものは、定期点検をおすすめします。点検をご希望の際は、コールセンターへご連絡ください。

● 修理料金のしくみ

※修理・部品交換・点検は、テラルコールセンターへご相談ください。

修理・部品交換・点検には

技術料

+

部品代

+

出張料金

がかかります。

技術料

故障箇所の修理及び部品交換作業、作業後の点検にかかる費用です。

部品代

修理に使用する部品代です。

出張料金

修理する商品のある場所までサービスマンを派遣するための費用です。

保証書

本書は、下記保証範囲において、無償修理を行うことを保証するものです。本製品の使用において、不都合が生じた場合は、本書をご提示の上、テラルコールセンターへ修理をご依頼ください。

品名・型式	ディスポーザ DSP-250HD-AWS-H
保証期間	お引渡日から2年間

お客様	おなまえ	様	
	おところ		
お引渡日	年	月	日

●無償保証規定

- 保証期間中、取扱説明書に従った正常なご使用にもかかわらず、テラル株式会社が納入した機械の設計、または工作の不備が原因で故障、破損が発生した場合、その部分について表記の期間無償で修理または交換を致します。
- 前項による保証範囲は、不具合部分の機械的保証までとし、その故障に起因する種々の出費およびその他の損害は保証しません。
- 以下の故障、破損の修理は有償とさせていただきます。
 - 使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お取付後の移設等に起因する故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・凍結その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - 指定外の電源（電圧・周波数）の使用及び異常水質による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 異物噛み込みによる不具合及び消耗部品の損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお客様名、お引渡日の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられない場合
- 保証期間内でも、保証範囲は本体部及び付属品のみで、排水配管類は含みません。
- 不具合の原因が不明確な場合は協議の上、処置を決定することとします。
- 修理に必要な部品の弊社保有期間は、製造打ち切り後7年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。

●サービス記録

年月日	不具合内容とその処置	担当者

ディスポーザの仕様

型 式	DSP-250HD-AWS-H
投 入 方 式	回転蓋スイッチ型バッチ式
取 扱 液 質	水道水 (0~40℃)
設 置 場 所	流し台シンク下
設 置 方 式	吊り下げ形
使 用 電 源	単相100V、50Hz/60Hz兼用
電 源 容 量	15A
電 動 機 形 式	直流電動機(ブラシレス)
極数・定格出力	8極・250W
定格消費電力	318W
定 格 電 流	6.5A
運 転 時 間 定 格	5分
破 碎 方 式	ハンマーミル方式
破 碎 室 容 積	約1.4リットル
保 護 装 置	過負荷保護装置(手動復帰式)、スイッチ切り忘れ防止回路

- 過負荷保護装置・・・・・・・・・・・・・・ 異物の噛み込んだときや、生ごみを詰め込み過ぎたときに作動し、電動機の焼損を防ぎます。
- スイッチ切り忘れ防止回路・・・・・・・・ 蓋スイッチを「OFF」にしなくても、運転開始から一定時間後に自動停止し、長時間運転し続けられないようになっています。

TERAL

テラル株式会社

ディスプレイに関するお問合せ先

テラルコールセンター

 **0120-201-844**